

エスカレーターが関連する救急事故の傾向及び事例

東京消防庁へ依頼し、提供を受けた救急搬送事例を整理、分析した。

過去3年間（2021～2023年）の東京消防庁管内におけるエスカレーター上での転倒等に伴う救急搬送者数は、3683人。「年齢別」や「発生時間別」等の集計結果から分かるエスカレーターが関連する救急事故の主な傾向は次のとおり。

- 救急搬送者数の推移（過去10年間 ※2014～2020年の救急搬送者数は東京消防庁の統計を引用）
 - ・新型コロナウイルスで影響があったと考えられる期間（2020～2022年）を除くと、おおむね横ばいで推移（約1400人／年）。
 - ・65歳以上が多い（エスカレーター関連救急搬送者全体の6～7割を占める）。
- 年齢
 - ・年齢別に見ると「80代」が最も多く（約3割）、次いで「70代」が多い（約2割）。
- 発生時間
 - ・年齢層により発生が多い時間帯が異なる。
65歳以上は「11～16時台」が多く、65歳未満は「22～23時台」が多い。
- 酗釈者
 - ・酩酊者が一定数いる（エスカレーター関連救急搬送者全体の約2割を占める）。
 - ・65歳未満の酩酊者率が高い（65歳未満のエスカレーター関連救急搬送者のうち約3割を占める）。
- 重症度
 - ・「軽症」が最も多く（約8割）、次いで「中等症」が多い（約2割）。「重症」以上は少ない。
- 発生場所
 - ・「道路・交通施設（駅、空港、バスターミナル等）」が最も多く（約6割）、次いで「店舗・遊戯施設等（百貨店、ショッピングセンター、スーパー等）」が多い（約3割）。
 - ・65歳以上は「店舗・遊戯施設等」が比較的多い（65歳以上のエスカレーター関連救急搬送者のうち約4割を占める）。
- 受傷形態
 - ・「転倒・転落」が大部分を占める（エスカレーター関連救急搬送者全体の9割以上）。

※ 割合の数値（%）は、四捨五入していることから、合計で100%とならない場合がある。

※ 推測での分類も含むため、実際と異なる可能性がある。

第1 救急事故の傾向

東京消防庁へ依頼し、提供を受けたエスカレーターが関連する救急搬送事例を整理、分析した。
過去3年間（2021～2023年）の東京消防庁管内におけるエスカレーター上での転倒等に伴う救急搬送者は、3683人¹であった。

〔エスカレーター上での転倒等に伴う救急搬送者数〕

抽出事例	エスカレーターが関連するもの
除外事例	<ul style="list-style-type: none">・動く歩道のもの（踏板が階段状にならないもの）・作業中（点検、清掃等）のもの・停止中のもの・口論、揉み合い等が関連するもの・特殊なもの（車椅子専用運転中等）

¹ 東京消防庁のエスカレーターが関連する救急搬送事例から、動く歩道のものなどを除外し、集計したもの。

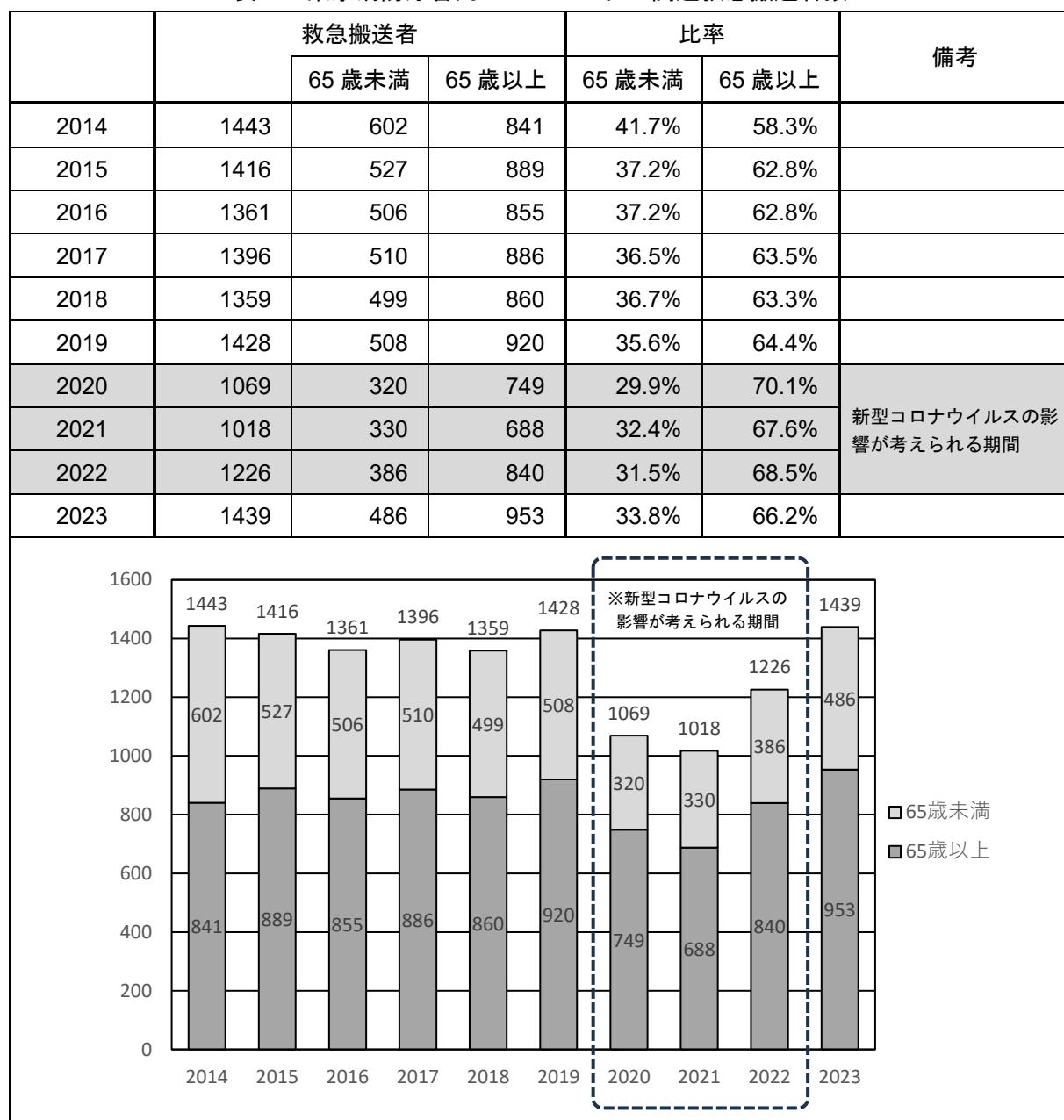
1 救急搬送者数の推移

東京消防庁管内におけるエスカレーター上での転倒等に伴う救急搬送者（以下、「東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者」という。）の過去10年間の推移を、表1に示す。なお、2014～2020年の救急搬送者数は東京消防庁の統計²を引用したものであり、今回整理、分析した2021～2023年とは除外事例の考え方などが異なる可能性がある。

主な傾向は次のとおり。

- ・新型コロナウイルスの影響でエスカレーター利用が減少したと考えられる2020～2022年を除外して見た場合、救急搬送者数はおおむね横ばいで推移している（約1400人／年）。
- ・65歳以上の救急搬送が多い（エスカレーター関連救急搬送者全体の6～7割を占める）。

表1 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数



² 東京消防庁「救急搬送データから見る日常生活事故の実態（平成30年～令和2年）」

2 年齢

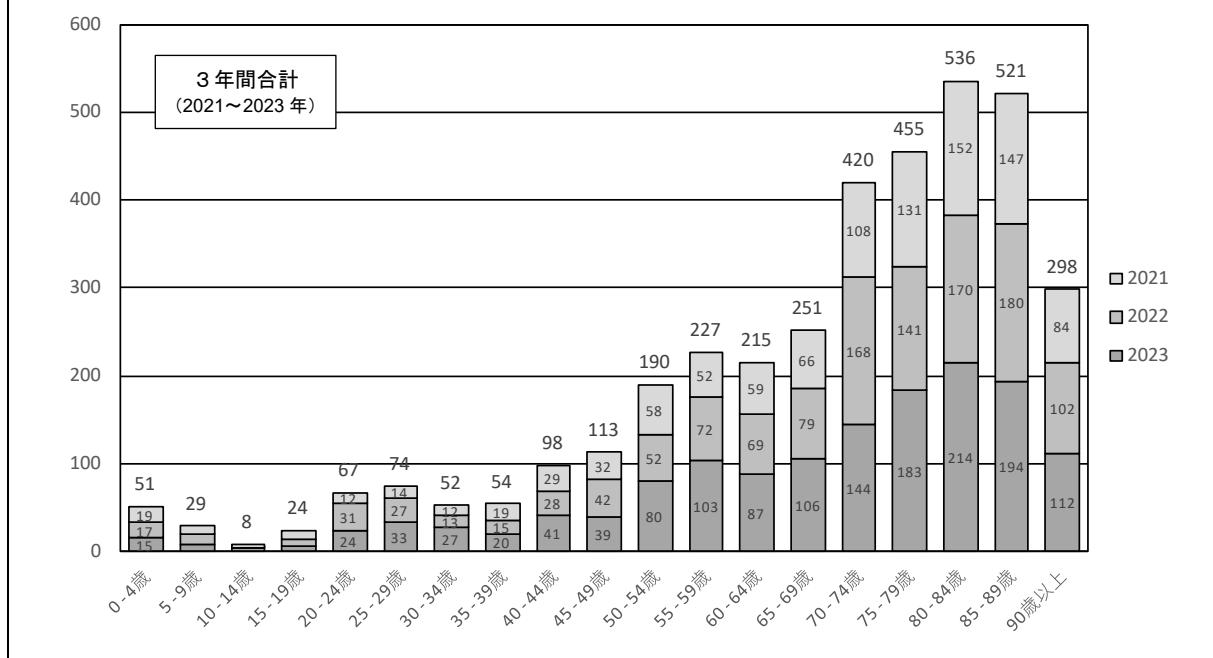
過去3年間の東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者を、年齢別に集計したものを、表2に示す。

主な傾向は次のとおり。

- 「80代(80~89歳)」が最も多く(約3割)、次いで「70代(70~79歳)」が多い(約2割)。
- 「20歳未満」は少ないが、その中では「0~4歳」が比較的多い。

表2 年齢別 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数

	救急搬送者				比率			
	2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計
0 - 4 歳	19	17	15	51	1.9%	1.4%	1.0%	1.4%
5 - 9 歳	10	11	8	29	1.0%	0.9%	0.6%	0.8%
10 - 14 歳	4	1	3	8	0.4%	0.1%	0.2%	0.2%
15 - 19 歳	10	8	6	24	1.0%	0.7%	0.4%	0.7%
20 - 24 歳	12	31	24	67	1.2%	2.5%	1.7%	1.8%
25 - 29 歳	14	27	33	74	1.4%	2.2%	2.3%	2.0%
30 - 34 歳	12	13	27	52	1.2%	1.1%	1.9%	1.4%
35 - 39 歳	19	15	20	54	1.9%	1.2%	1.4%	1.5%
40 - 44 歳	29	28	41	98	2.8%	2.3%	2.8%	2.7%
45 - 49 歳	32	42	39	113	3.1%	3.4%	2.7%	3.1%
50 - 54 歳	58	52	80	190	5.7%	4.2%	5.6%	5.2%
55 - 59 歳	52	72	103	227	5.1%	5.9%	7.2%	6.2%
60 - 64 歳	59	69	87	215	5.8%	5.6%	6.0%	5.8%
65 - 69 歳	66	79	106	251	6.5%	6.4%	7.4%	6.8%
70 - 74 歳	108	168	144	420	10.6%	13.7%	10.0%	11.4%
75 - 79 歳	131	141	183	455	12.9%	11.5%	12.7%	12.4%
80 - 84 歳	152	170	214	536	14.9%	13.9%	14.9%	14.6%
85 - 89 歳	147	180	194	521	14.4%	14.7%	13.5%	14.1%
90歳以上	84	102	112	298	8.3%	8.3%	7.8%	8.1%
計	1018	1226	1439	3683	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



3 発生時間

過去3年間の東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者を、発生時間別に集計したものを、表3に示す。なお、発生時間には消防機関が災害を認知した時刻（覚知時刻）を使用しているため、実際の発生よりも遅い時間で集計している可能性がある。

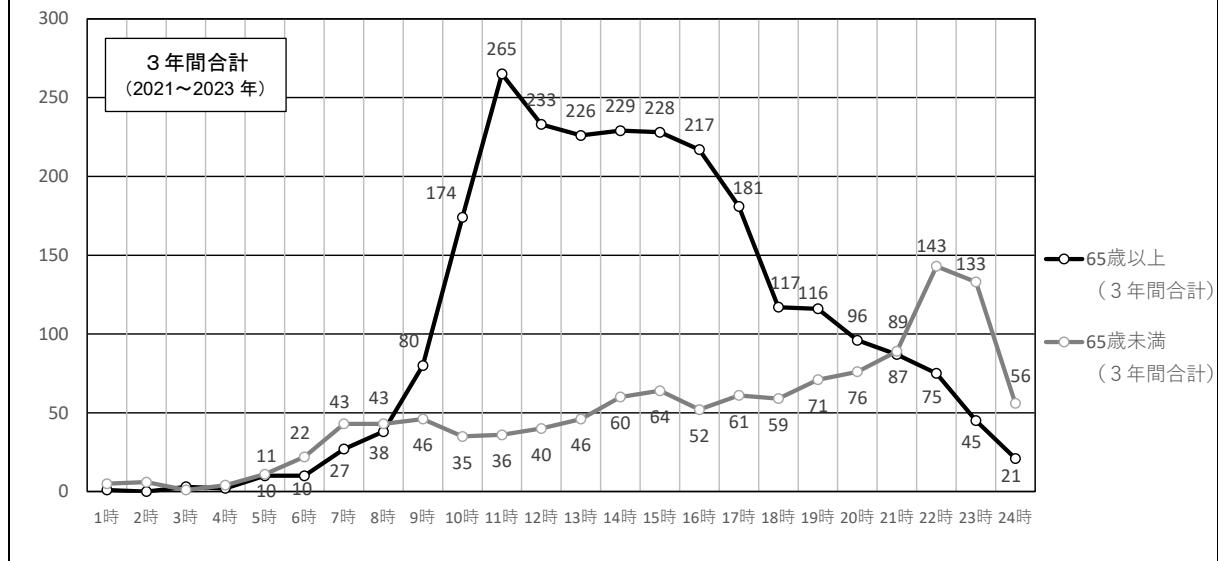
主な傾向は次のとおり。

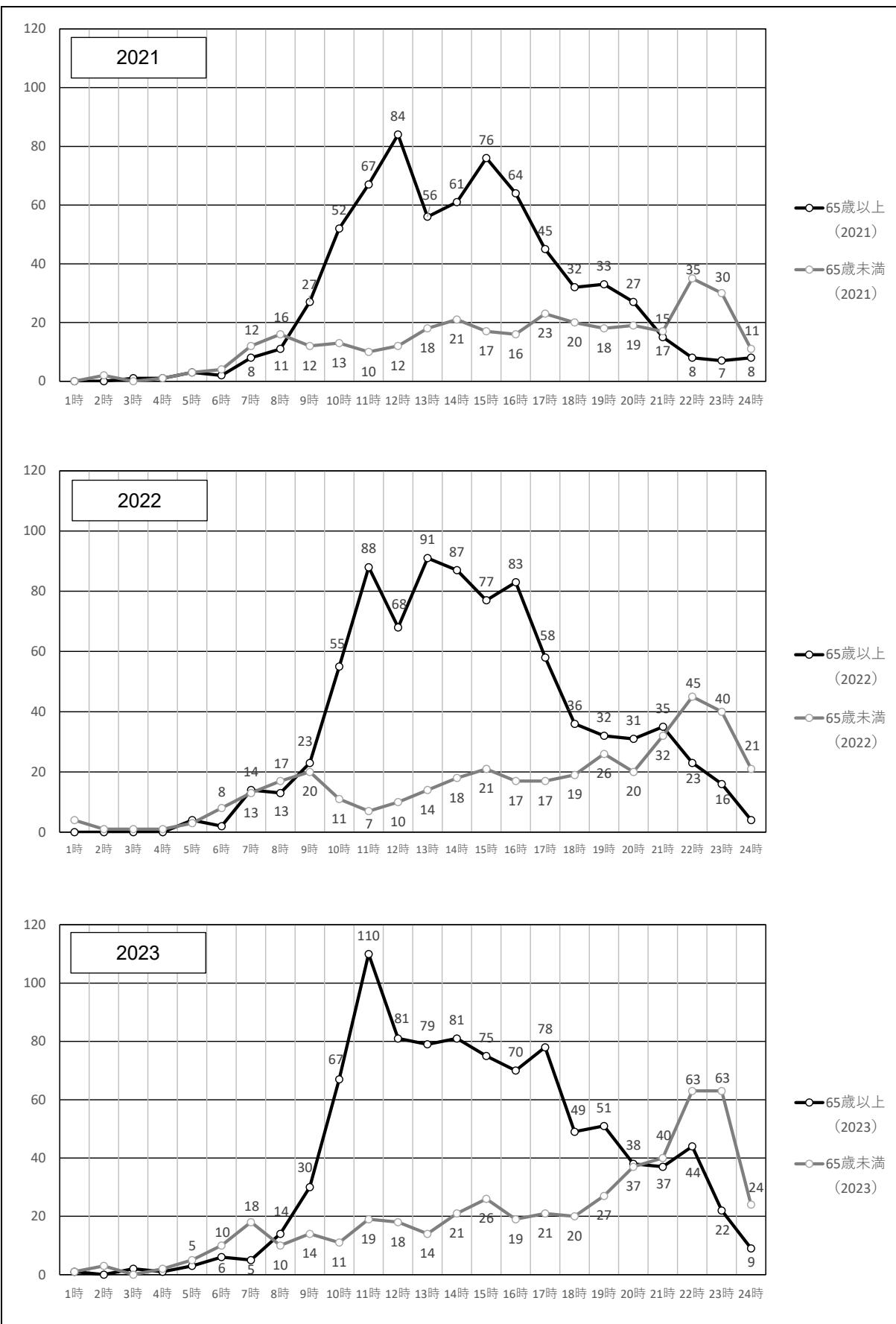
- ・年齢層により発生が多い時間帯が異なる。

65歳未満は「22～23時台」が多く、65歳以上は「11～16時台」が多い。

表3 発生時間（覚知時刻）別 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数

	全体				65歳未満				65歳以上			
	2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計
1時	0	4	2	6	0	4	1	5	0	0	1	1
2時	2	1	3	6	2	1	3	6	0	0	0	0
3時	1	1	2	4	0	1	0	1	1	0	2	3
4時	2	1	3	6	1	1	2	4	1	0	1	2
5時	6	7	8	21	3	3	5	11	3	4	3	10
6時	6	10	16	32	4	8	10	22	2	2	6	10
7時	20	27	23	70	12	13	18	43	8	14	5	27
8時	27	30	24	81	16	17	10	43	11	13	14	38
9時	39	43	44	126	12	20	14	46	27	23	30	80
10時	65	66	78	209	13	11	11	35	52	55	67	174
11時	77	95	129	301	10	7	19	36	67	88	110	265
12時	96	78	99	273	12	10	18	40	84	68	81	233
13時	74	105	93	272	18	14	14	46	56	91	79	226
14時	82	105	102	289	21	18	21	60	61	87	81	229
15時	93	98	101	292	17	21	26	64	76	77	75	228
16時	80	100	89	269	16	17	19	52	64	83	70	217
17時	68	75	99	242	23	17	21	61	45	58	78	181
18時	52	55	69	176	20	19	20	59	32	36	49	117
19時	51	58	78	187	18	26	27	71	33	32	51	116
20時	46	51	75	172	19	20	37	76	27	31	38	96
21時	32	67	77	176	17	32	40	89	15	35	37	87
22時	43	68	107	218	35	45	63	143	8	23	44	75
23時	37	56	85	178	30	40	63	133	7	16	22	45
24時	19	25	33	77	11	21	24	56	8	4	9	21
計	1018	1226	1439	3683	330	386	486	1202	688	840	953	2481





4 年齢及び発生時間

過去3年間の東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者を、年齢及び発生時間(覚知時刻)別に集計したものを、表4に示す。

主な傾向は次のとおり。

- ・65歳未満では、「50代(50~59歳)」の「22~23時台」の発生が多い。
- ・65歳以上では、「80代(80~89歳)」の「11~16時台」の発生が多い。

表4 年齢及び発生時間(覚知時刻)別 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数

	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	
0-4歳									1		1	1	7	7	9	9	5	2	3	3	2	1			51	
5-9歳										2	1	2	3	4	4	3	2	4	3	1					29	
10-14歳									1				3		1	1	1					1				8
15-19歳								1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	1		1		3	2		24
20-24歳	1	1		1	1	2	5	3	4	4	1	1	1		2	4	2	1	2	2	5	10	8	6	67	
25-29歳		1			1	3	3	5	6	2	4	1	4	2	2	3	4	5	5	3	1	5	8	6	74	
30-34歳						4	4	2	2	4	1	2	3		4	1	4	3	2	3	3	1	5	4	52	
35-39歳	1	1		1			2	2	1	1		2	1	4		2	1	5	3	2	2	9	12	2	54	
40-44歳			1		1	4	4	2	8	5	5	1	5	3	2	4	5	4	2	1	7	12	17	5	98	
45-49歳	2			1	1	1	8	8	4	6	6	3	1	4	5	3	4	5	10	4	10	9	9	9	113	
50-54歳					1	2	11	6	3	1	2	3	6	8	10	5	8	12	10	14	17	32	29	10	190	
55-59歳		2			3	5	2	6	9	2	4	7	3	16	12	8	15	6	13	19	18	34	33	10	227	
60-64歳	1	1		1	3	1	3	7	6	6	10	10	7	8	11	11	11	10	18	24	24	28	10	4	215	
65-69歳			1	1	1		6	8	5	9	9	16	12	13	11	19	10	15	23	19	26	28	10	9	251	
70-74歳				1	3	1	8	6	17	20	39	26	28	36	37	25	27	20	22	27	31	24	18	4	420	
75-79歳			1		4	3	6	10	16	34	57	37	25	28	50	41	37	25	17	16	17	14	11	6	455	
80-84歳	1		1		2	4	4	7	14	36	61	57	56	59	49	57	37	25	30	15	10	5	5	1	536	
85-89歳							2	6	13	50	54	63	65	59	52	52	43	21	18	14	3	4	1	1	521	
90歳以上							2	1	1	15	25	45	34	40	34	29	23	27	11	6	5				298	
計	6	6	4	6	21	32	70	81	126	209	301	273	272	289	292	269	242	176	187	172	176	218	178	77	3683	

[着色凡例]

15人以上
30人以上
45人以上
60人以上

5 酔酔者

「22～23時台」の発生が多いことから、酔酔者によるエスカレーター上での転倒等が一定数あることが考えられた。このため、救急搬送概要等の内容を分析し、酔酔していたと思われる救急搬送者を集計したものを、表5－1、表5－2に示す。なお、救急搬送時に酔酔しているか不明な事例もあるため、集計した酔酔者数は実際よりも少ない可能性がある。

2021年及び2022年は、新型コロナウイルスの影響で外出先での飲酒が減少していたと考えられるため、2023年のみの集計結果を見ると次のような傾向がある。

- ・酔酔者が一定数いる（エスカレーター関連救急搬送者全体の約2割を占める）。
- ・65歳未満の酔酔者率が高い（65歳未満のエスカレーター関連救急搬送者のうち約3割を占める）。
- ・酔酔者の発生時間は、「22時」が最も多く、次いで「23時」が多い。

表5－1 酔酔者数（東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者のうちの酔酔者数）

	酔酔者 A		酔酔者以外（不明含む） B		酔酔者率 A / (A+B)		備考
	65歳 未満	65歳 以上	65歳 未満	65歳 以上	65歳 未満	65歳 以上	
2021	129	87	42	889	243	646	12.7% 26.4% 6.1%
2022	190	113	77	1036	273	763	15.5% 29.3% 9.2%
2023	263	153	110	1176	333	843	18.3% 31.5% 11.5%
3年間 合計	582	353	229	3101	849	2252	15.8% 29.4% 9.2%

※新型コロナウイルスの影響が考えられる期間

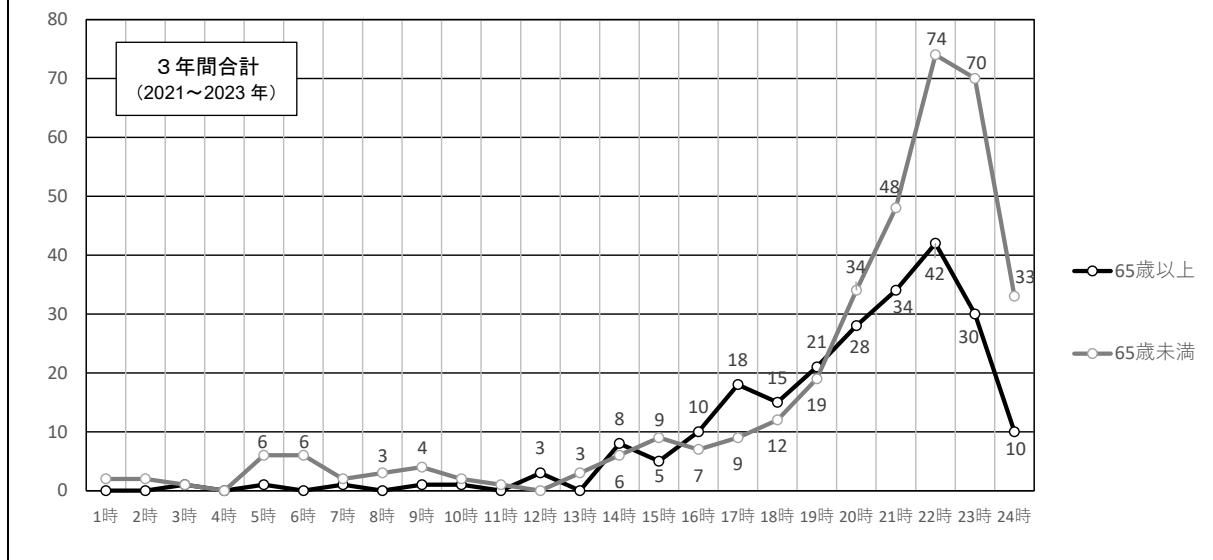
年	65歳未満	65歳以上	合計
2021	129	87	216
2022	190	113	303
2023	263	153	416

年	全般	65歳未満	65歳以上
2021	12.7%	18.3% (263)	81.7% (1176)
2022	15.5%	31.5% (153)	68.5% (333)
2023	18.3%	11.5% (110)	88.5% (843)

※2021年及び2022年は、新型コロナウイルスの影響で外出先での飲酒が減少していたと考えられるため、2023年のみの酔酔者率をグラフ化している。

表5－2 発生時間別 酗釈者数（東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者のうちの酩酊者数）

	全体				65歳未満				65歳以上			
	2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計
1時	0	1	1	2	0	1	1	2	0	0	0	0
2時	0	1	1	2	0	1	1	2	0	0	0	0
3時	0	1	1	2	0	1	0	1	0	0	1	1
4時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5時	3	1	3	7	2	1	3	6	1	0	0	1
6時	1	2	3	6	1	2	3	6	0	0	0	0
7時	1	1	1	3	0	1	1	2	1	0	0	1
8時	0	3	0	3	0	3	0	3	0	0	0	0
9時	0	3	2	5	0	2	2	4	0	1	0	1
10時	0	2	1	3	0	1	1	2	0	1	0	1
11時	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0
12時	0	2	1	3	0	0	0	0	0	2	1	3
13時	1	0	2	3	1	0	2	3	0	0	0	0
14時	4	3	7	14	2	1	3	6	2	2	4	8
15時	5	4	5	14	5	2	2	9	0	2	3	5
16時	4	6	7	17	3	2	2	7	1	4	5	10
17時	10	3	14	27	6	1	2	9	4	2	12	18
18時	7	8	12	27	6	2	4	12	1	6	8	15
19時	9	13	18	40	3	8	8	19	6	5	10	21
20時	20	21	21	62	11	10	13	34	9	11	8	28
21時	14	25	43	82	9	12	27	48	5	13	16	34
22時	19	42	55	116	15	25	34	74	4	17	21	42
23時	22	33	45	100	17	24	29	70	5	9	16	30
24時	8	15	20	43	5	13	15	33	3	2	5	10
計	129	190	263	582	87	113	153	353	42	77	110	229



6 重症度

過去3年間の東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者を、重症度（初診時程度）別に集計したものを、表6に示す。

主な傾向は次のとおり。

- ・「軽症」が最も多く（約8割）、次いで「中等症」が多い（約2割）。
- 「重症」及び「重篤」は少なく、「死亡」は無い。
- ・65歳未満、65歳以上、酩酊者においても、重症度の分布は同じような傾向を示している（いずれの場合でも「軽症」約8割、「中等症」約2割、「重症以上」少ない）。

表6 重症度³（初診時程度）別 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数

		全体				65歳未満				65歳以上				酩酊者							
		2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計				
救急搬送者	軽症	817	961	1128	2906	263	315	383	961	554	646	745	1945	103	157	207	467				
	中等症	194	249	294	737	63	61	94	218	131	188	200	519	26	28	53	107				
	重症	6	13	14	33	3	7	8	18	3	6	6	15	0	4	3	7				
	重篤	1	3	3	7	1	3	1	5	0	0	2	2	0	1	0	1				
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
比率	軽症	80.3%	78.4%	78.4%	78.9%	79.7%	81.6%	78.8%	80.0%	80.5%	76.9%	78.2%	78.4%	79.8%	82.6%	78.7%	80.2%				
	中等症	19.1%	20.3%	20.4%	20.0%	19.1%	15.8%	19.3%	18.1%	19.0%	22.4%	21.0%	20.9%	20.2%	14.7%	20.2%	18.4%				
	重症	0.6%	1.1%	1.0%	0.9%	0.9%	1.8%	1.6%	1.5%	0.4%	0.7%	0.6%	0.6%	0.0%	2.1%	1.1%	1.2%				
	重篤	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.8%	0.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%				
	死亡	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
3年間合計 (2021~2023年)																					
		<table border="1"> <tr> <td>軽症</td> <td>中等症</td> <td>重症・重篤</td> </tr> <tr> <td>78.9% (2906)</td> <td>20.0% (737)</td> <td></td> </tr> </table>																軽症	中等症	重症・重篤	78.9% (2906)
軽症	中等症	重症・重篤																			
78.9% (2906)	20.0% (737)																				
<table border="1"> <tr> <td>80.0% (961)</td> <td>18.1% (218)</td> <td></td> </tr> </table>																80.0% (961)	18.1% (218)				
80.0% (961)	18.1% (218)																				
<table border="1"> <tr> <td>78.4% (1945)</td> <td>20.9% (519)</td> <td></td> </tr> </table>																78.4% (1945)	20.9% (519)				
78.4% (1945)	20.9% (519)																				
<table border="1"> <tr> <td>80.2% (467)</td> <td>18.4% (107)</td> <td></td> </tr> </table>																80.2% (467)	18.4% (107)				
80.2% (467)	18.4% (107)																				

³ 軽症：入院を要しないもの

中等症：生命の危険はないが入院を要するもの

重症：生命の危険の可能性があるもの

重篤：生命の危険が切迫しているもの

死亡：初診時死亡が確認されたもの

（傷病者重症度分類表より）

7 発生場所

過去3年間の東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者を、発生場所（事故発生施設）別に集計したものを、表7に示す。

主な傾向は次のとおり。

- ・「道路・交通施設（駅、空港、バスターミナル等）」が最も多く（約6割）、次いで「店舗・遊戯施設等（百貨店、ショッピングセンター、スーパー等）」が多い（約3割）。
- ・65歳未満は、全体と比べると「道路・交通施設」での発生率が高い（約8割）。
- ・65歳以上は、全体と比べると「店舗・遊戯施設等」での発生率が高い（約4割）。
- ・酩酊者は、全体と比べると「道路・交通施設」での発生率が高い（約9割）。

表7 発生場所（事故発生施設）⁴別 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数

	全般	65歳未満				65歳以上				酩酊者																							
		2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計	2021	2022	2023	3年間合計																				
救急搬送者	道路・交通施設	626	765	935	2326	275	318	387	980	351	447	548	1346																				
	店舗・遊技施設等	361	425	466	1252	45	53	82	180	316	372	384	1072																				
	会社・公共施設等	9	9	14	32	3	3	9	15	6	6	5	17																				
	住宅等居住場所	4	4	4	12	2	1	0	3	2	3	4	9																				
	その他（不明含む）	18	23	20	61	5	11	8	24	13	12	12	37																				
比率	道路・交通施設	61.5%	62.4%	65.0%	63.2%	83.3%	82.4%	79.6%	81.5%	51.0%	53.2%	57.5%	54.3%																				
	店舗・遊技施設等	35.5%	34.7%	32.4%	34.0%	13.6%	13.7%	16.9%	15.0%	45.9%	44.3%	40.3%	43.2%																				
	会社・公共施設等	0.9%	0.7%	1.0%	0.9%	0.9%	0.8%	1.9%	1.2%	0.9%	0.7%	0.5%	0.7%																				
	住宅等居住場所	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.6%	0.3%	0.0%	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%	1.6%																				
	その他（不明含む）	1.8%	1.9%	1.4%	1.7%	1.5%	2.8%	1.6%	2.0%	1.9%	1.4%	1.3%	1.5%																				
3年間合計 (2021~2023年)		<table border="1"> <tr> <td>道路・交通施設</td> <td>63.2% (2326)</td> <td>34.0% (1252)</td> <td>2.9% (105)</td> </tr> <tr> <td>店舗・遊技施設等</td> <td>81.5% (980)</td> <td>15.0% (180)</td> <td>3.5% (42)</td> </tr> <tr> <td>会社・公共施設等</td> <td>54.3% (1346)</td> <td>43.2% (1072)</td> <td>2.5% (63)</td> </tr> <tr> <td>住宅等居住場所</td> <td>86.4% (503)</td> <td>11.0% (64)</td> <td>2.6% (15)</td> </tr> <tr> <td>その他 (不明含む)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												道路・交通施設	63.2% (2326)	34.0% (1252)	2.9% (105)	店舗・遊技施設等	81.5% (980)	15.0% (180)	3.5% (42)	会社・公共施設等	54.3% (1346)	43.2% (1072)	2.5% (63)	住宅等居住場所	86.4% (503)	11.0% (64)	2.6% (15)	その他 (不明含む)			
道路・交通施設	63.2% (2326)	34.0% (1252)	2.9% (105)																														
店舗・遊技施設等	81.5% (980)	15.0% (180)	3.5% (42)																														
会社・公共施設等	54.3% (1346)	43.2% (1072)	2.5% (63)																														
住宅等居住場所	86.4% (503)	11.0% (64)	2.6% (15)																														
その他 (不明含む)																																	

⁴ 道路・交通施設：駅、空港、バスターミナル 等
店舗・遊技施設等：百貨店、ショッピングセンター、スーパー 等
会社・公共施設等：オフィス、役所 等
住宅等居住場所：ホテル、マンション 等
その他（不明含む）：学校、病院 等

8 受傷形態

過去3年間の東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者を、受傷形態別に集計したものを、表8に示す。

主な傾向は次のとおり。

- ・「転倒・転落」が大部分を占める（エスカレーター関連救急搬送者全体の9割以上）。
- ・65歳未満、65歳以上、酩酊者においても、受傷形態の分布は同じような傾向を示している。（いずれの場合でも「転倒・転落」が9割以上）
- ・「挟まれ」の多くが「65歳未満」であり、年齢別にみると「0～4歳」が比較的多い。
(年齢別 挟まれ 0～4歳：6人、5～19歳：5人、20～64歳：3人、65歳以上：1人)

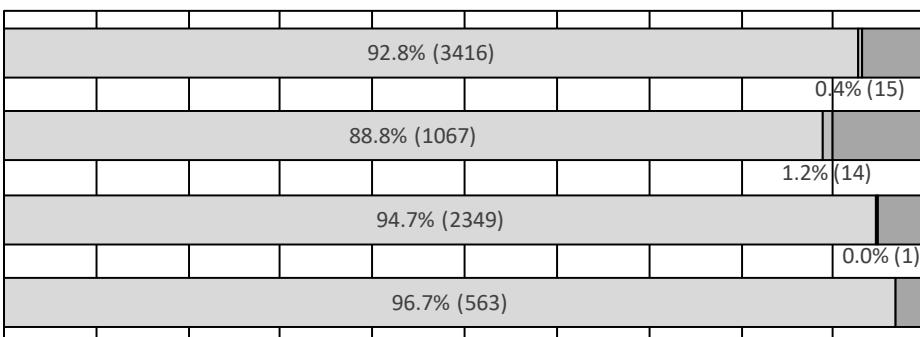
表8 受傷形態別 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数

		全体				65歳未満				65歳以上				酩酊者			
		2021	2022	2023	3年間合計												
救急搬送者	転倒・転落	940	1141	1335	3416	293	343	431	1067	647	798	904	2349	125	181	257	563
	挟まれ	3	4	8	15	3	4	7	14	0	0	1	1	0	0	0	0
	その他(不明含む)	75	81	96	252	34	39	48	121	41	42	48	131	4	9	6	19
比率	転倒・転落	92.3%	93.1%	92.8%	92.8%	88.8%	88.9%	88.7%	88.8%	94.0%	95.0%	94.9%	94.7%	96.9%	95.3%	97.7%	96.7%
	挟まれ	0.3%	0.3%	0.6%	0.4%	0.9%	1.0%	1.4%	1.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(不明含む)	7.4%	6.6%	6.7%	6.8%	10.3%	10.1%	9.9%	10.1%	6.0%	5.0%	5.0%	5.3%	3.1%	4.7%	2.3%	3.3%

3年間合計
(2021～2023年)

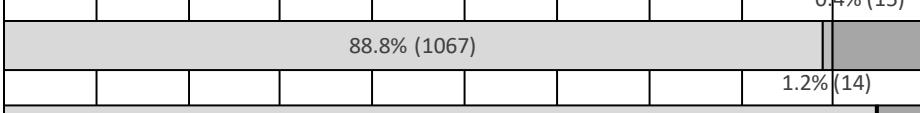
□ 転倒・転落
□ 挟まれ
■ その他(不明含む)

全体



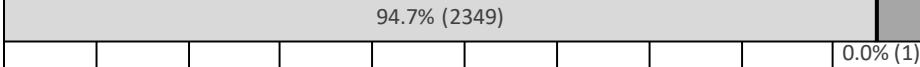
92.8% (3416)
 0.4% (15)
 6.8% (252)

65歳未満



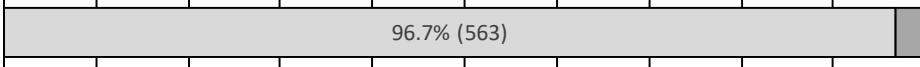
88.8% (1067)
 1.2% (14)
 10.1% (121)

65歳以上



94.7% (2349)
 0.0% (1)
 5.3% (131)

酩酊者



96.7% (563)
 3.3% (19)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

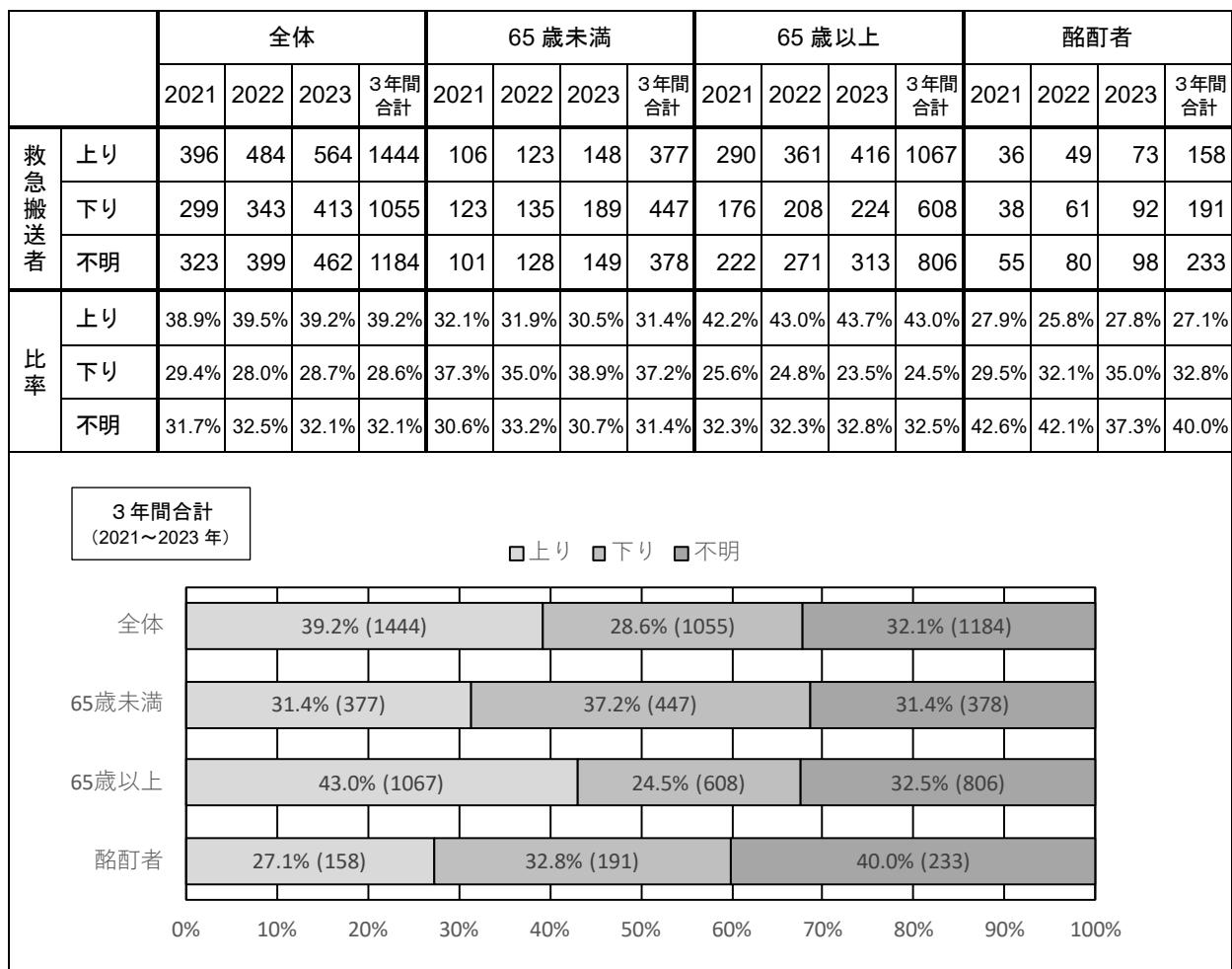
9 運転方向

過去3年間の東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者を、運転方向別に集計したものを、表9に示す。

主な傾向は次のとおり。なお、運転方向は不明の事例が多いため、傾向は実際とは異なる可能性がある。

- ・全体では「上り」での発生が比較的多い。(上り:約4割、下り:約3割、不明:約3割)
- ・65歳未満は「下り」での発生が比較的多い。(上り:約3割、下り:約4割、不明:約3割)
- ・65歳以上は「上り」での発生が比較的多い。(上り:約4割、下り:2~3割、不明:約3割)
- ・酩酊者は「下り」での発生が若干多い。(上り:約3割、下り:3~4割、不明:約4割)

表9 運転方向別 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数



10 受傷原因

過去3年間の東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者「3683人」の内、受傷のきっかけ等の記載があった「1886人（全体の51.2%）」の事例を分析し、受傷原因別に集計したものを、表10に示す。

主な傾向は次のとおり。なお、受傷原因是不明の事例（受傷のきっかけ等の記載がないもの）が多いため、傾向は実際とは異なる可能性がある。

- ・不明を除く受傷原因の上位3つは下記のとおり。

1	バランスを崩す、ふらつく、よろける	受傷者要因
2	つまずく	受傷者要因
3	転倒者・転落者の巻き添え	外的要因

- ・65歳未満は、65歳以上と比べると下記の受傷原因の比率が高い。

滑る	受傷者要因
逆向、逆走	受傷者要因
落下物の巻き添え	外的要因
人（転倒者・転落者以外）との接触、衝突等	外的要因

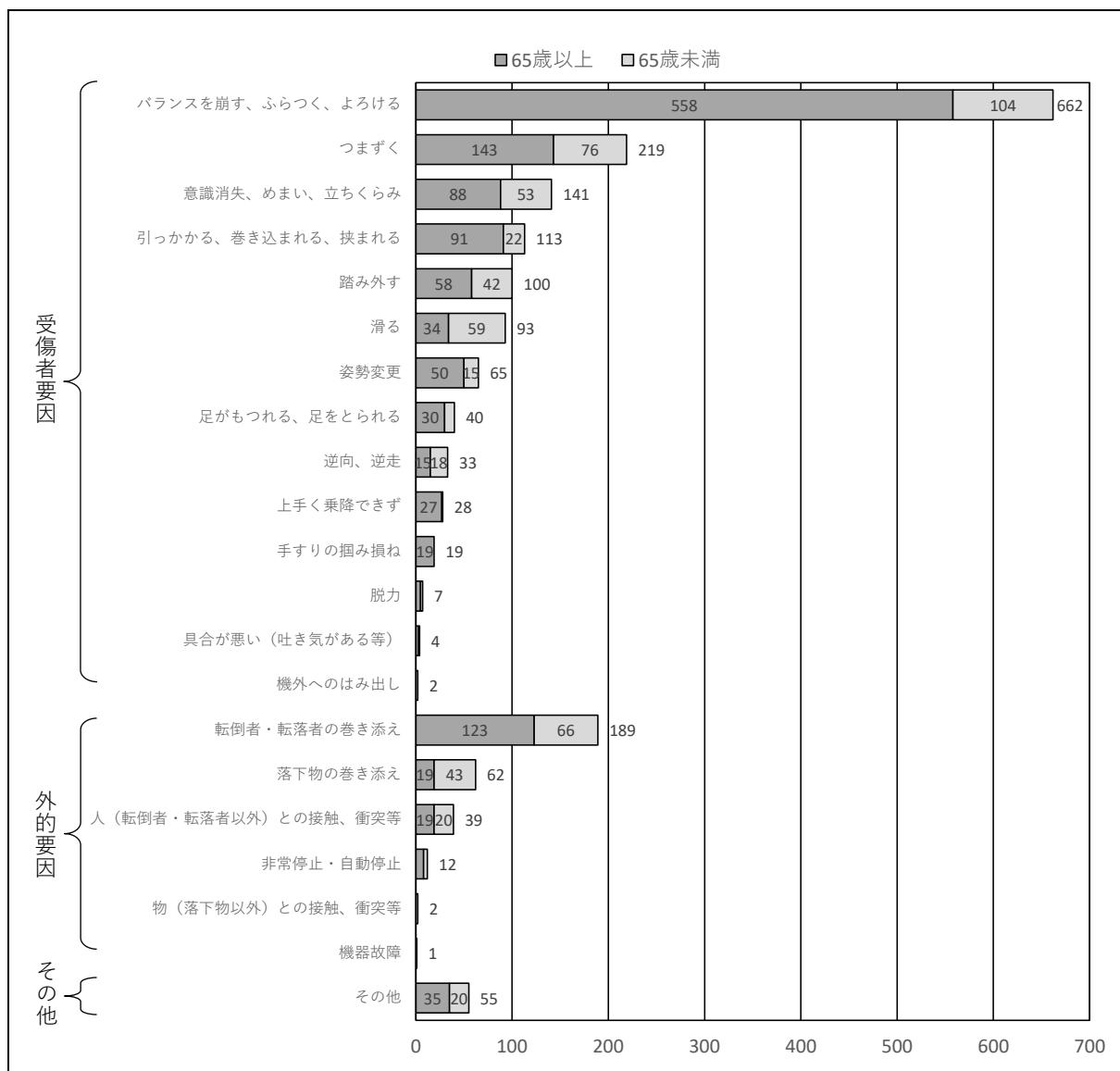
- ・65歳以上は、65歳未満と比べると下記の受傷原因の比率が高い。

バランスを崩す、ふらつく、よろける	受傷者要因
引っかかる、巻き込まれる、挟まれる	受傷者要因
姿勢変更	受傷者要因
上手く乗降できず	受傷者要因

表 10 受傷原因別⁵ 東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者数

		救急搬送者			比率	
		[上位 10]	65 歳 未満 [上位 10]	65 歳 以上 [上位 10]	65 歳 未満	65 歳 以上
受傷者要因	バランスを崩す、ふらつく、よろける	662 ①	104 ①	558 ①	15.7%	84.3%
	つまずく	219 ②	76 ②	143 ②	34.7%	65.3%
	意識消失、めまい、立ちくらみ	141 ④	53 ⑤	88 ⑤	37.6%	62.4%
	引っかかる、巻き込まれる、挟まる	113 ⑤	22 ⑧	91 ④	19.5%	80.5%
	靴の紐	21	8	13	38.1%	61.9%
	シルバーカー、手押し車、歩行器	20	1	19	5.0%	95.0%
	買い物カート	13	0	13	0.0%	100.0%
	キャリーバック、スーツケース	9	0	9	0.0%	100.0%
	杖	9	0	9	0.0%	100.0%
	その他（不明含む）	41	13	28	31.7%	68.3%
	踏み外す	100 ⑥	42 ⑦	58 ⑥	42.0%	58.0%
	滑る	93 ⑦	59 ④	34 ⑨	63.4%	36.6%
	足を滑らす	89	58	31	65.2%	34.8%
	足以外（杖等）を滑らす	4	1	3	25.0%	75.0%
	姿勢変更	65 ⑧	15 —	50 ⑦	23.1%	76.9%
	落とした物を拾う、覗く等	27	5	22	18.5%	81.5%
	後ろを振り向く	15	1	14	6.7%	93.3%
	その他（不明含む）	23	9	14	39.1%	60.9%
	足がもつれる、足をとられる	40 —	10 —	30 ⑩	25.0%	75.0%
	逆向、逆走	33 —	18 —	15 —	54.5%	45.5%
	上手く乗降できず	28 —	1 —	27 —	3.6%	96.4%
	乗り口	22	0	22	0.0%	100.0%
	降り口	6	1	5	16.7%	83.3%
	手すりの掴み損ね	19 —	0 —	19 —	0.0%	100.0%
	脱力	7 —	2 —	5 —	28.6%	71.4%
	具合が悪い（吐き気がある等）	4 —	1 —	3 —	25.0%	75.0%
	機外へのはみ出し	2 —	2 —	0 —	100.0%	0.0%
外的要因	転倒者・転落者の巻き添え	189 ③	66 ③	123 ③	34.9%	65.1%
	落下物の巻き添え	62 ⑨	43 ⑥	19 —	69.4%	30.6%
	キャリーバック、スーツケース	55	40	15	72.7%	27.3%
	その他（不明含む）	7	3	4	42.9%	57.1%
	人（転倒者・転落者以外）との接触、衝突等	39 —	20 ⑨	19 —	51.3%	48.7%
	歩行者との接触、衝突等	10	5	5	50.0%	50.0%
	歩行者同士の接触、接触等	1	1	0	100.0%	0.0%
	歩行中の接触、接触等	1	1	0	100.0%	0.0%
	その他（不明含む）	27	13	14	48.1%	51.9%
	非常停止・自動停止	12 —	4 —	8 —	33.3%	66.7%
	物（落下物以外）との接触、衝突等	2 —	2 —	0 —	100.0%	0.0%
	機器故障	1 —	0 —	1 —	0.0%	100.0%
その他		55 ⑩	20 ⑨	35 ⑧	36.4%	63.6%
計		1886	560	1326	29.7%	70.3%
不明（受傷のきっかけ等の記載がないもの）		1797	642	1155	35.7%	64.3%
不明率		48.8%	53.4%	46.6%		

⁵ 受傷のきっかけ等が複数ある場合は、主要因と思われる受傷原因に分類し集計。



1.1 歩行者

救急搬送概要等の内容を分析し、エスカレーター上を歩行又は走行していたと思われる救急搬送者を集計したものを、表 11 に示す。

エスカレーター関連の救急搬送に占める歩行者の割合は少ないが、歩行の有無を確認できない事例が多いため、集計した歩行者数は実際よりも少ない可能性がある。

表 11 歩行者数⁶（東京消防庁管内エスカレーター関連救急搬送者のうちの歩行者数）

	歩行者（走行者含む） A		歩行者以外（不明含む） B		歩行者率 A / (A+B)		備考
	65歳未満	65歳以上	65歳未満	65歳以上	65歳未満	65歳以上	
2021	44	32	12	974	298	676	4.3% 9.7% 1.7%
2022	52	31	21	1174	355	819	4.2% 8.0% 2.5%
2023	48	36	12	1391	450	941	3.3% 7.4% 1.3%
3年間合計	144	99	45	3539	1103	2436	3.9% 8.2% 1.8%

3年間合計
(2021～2023年)

区分	65歳未満	65歳以上	合計
歩行者以外 (不明含む)	3539	1103	4642
歩行者 (走行者含む)	144	99	243
歩行者率 A / (A+B)	3.9%	8.2%	1.8%

[歩行者数]

年	65歳未満	65歳以上	合計
2021	44	32	76
2022	52	31	83
2023	48	36	84

[歩行者率]

年	歩行者以外 (不明含む)	歩行者 (走行者含む)	合計
2021	96.1% (3539)	3.9% (144)	100%
2022	91.8% (1103)	8.2% (99)	100%
2023	98.2% (2436)	1.8% (45)	100%

⁶ 乗降口付近で乗降のために歩行していた（一般的な乗降動作）と推測できるものは除外して集計。

[参考] エスカレーターに係る事故防止対策検討委員会（東京消防庁）の事故事例調査結果

2004年に東京都港区で起きた回転ドア事故を受け、東京消防庁管内において2003年1月から2004年3月まで（15か月間）に発生した救急事故のうち、回転ドア、エスカレーター、エレベーターなど7種の機器に係わるものについて調査が行われた。その結果、それらの機器により2177人が受傷し、そのうちエスカレーターによるものが1014人と最も多く発生していたことが分かった。この調査結果を受けて東京消防庁は「エスカレーターに係る事故防止対策検討委員会」を設置し、事故事例調査や利用実態調査などを行い、2005年に報告書⁷を公表した。

同委員会の事故事例調査では、調査票を用いた詳細な事故要因などの把握を行っており、その調査概要及び調査結果の抜粋を下表に示す。

・調査概要

対象期間	2004年8月30日から12月31日まで（約4か月間）		
対象地域	東京消防庁管内		
調査事例	313人分の救急事故		
調査方法	「救急隊用」と「事故現場に出向する職員用」の調査票を事前に準備。 エスカレーター関連事故の発生時に調査票に基づき調査を実施。		

・調査結果（抜粋）

生理的要因別	酩酊（高）	72	23.0%	} 酒酔者率 35.5%
	酩酊（低）	39	12.5%	
	既往症	29	9.3%	
	めまい・意識消失	20	6.4%	
	疲労	4	1.3%	
	眠気	4	1.3%	
	その他	2	0.6%	
	特になし	143	45.7%	
	計	313	100.0%	
行動類型別	立っていた	155	49.5%	} 歩行者率（歩行者含む） 12.1%
	乗ろうとした	68	21.7%	
	降りようとした	41	13.1%	
	歩いていた	28	8.9%	
	走っていた	10	3.2%	
	逆行した	5	1.6%	
	手すりに寄りかかっていた	3	1.0%	
	かがんでいた	2	0.6%	
	その他	1	0.3%	
	計	313	100.0%	

※歩行者38人のうち、
18人(47.4%)が酩酊者

今回の救急搬送事例（2021～2023年）を分析した「酩酊者率」及び「歩行者率」は、東京消防庁が設置した委員会が調査票を用いて調査した事例（2004年8～12月）のものより低い値となっている。これは、「今回の救急搬送概要等の分析では全ての飲酒者、歩行者を拾い切れていない可能性」や「若年層等の飲酒離れ」、「歩行に対する意識の変化」などが考えられる。

	酩酊者率	歩行者率	調査事例
東京消防庁設置委員会の調査票調査結果	35.5%	12.1%	2004年8月30日～12月31日の313事例
今回の救急搬送事例の分析結果	18.3%	3.9%	酩酊率は2023年の1439事例 ※ 歩行率は2021～2023年の3683事例

※2021年及び2022年は新型コロナウイルスの影響で外出先での飲酒が減少したと考えられるため、2023年のみの酩酊率を記載。

⁷ 東京消防庁「エスカレーターに係る事故防止対策について（エスカレーターに係る事故防止対策検討委員会報告書）（平成17年3月）」

第2 救急事故の事例

救急事故の事例を、表10で示した受傷原因別に次に示す。

1 受傷者要因

受傷原因	事例	
バランスを崩す ふらつく よろける (662件)	65歳以上 (558件)	駅の改札内の上りエスカレーターに乗った直後にふらつき、後方に転倒。 (90歳以上、15時台、軽症、道路・交通施設)
		スーパーで買い物を終え、上りエスカレーターに乗っていたところ、真ん中付近でバランスを崩して後ろ向きに転倒し、後頭部を受傷。 (80歳代、14時台、軽症、店舗・遊技施設等)
		ショッピングモールの上りエスカレーターに乗っていた際、中程でバランスを崩して後ろに転落。 (80歳代、15時台、軽症、店舗・遊技施設等)
		駅構内の上りエスカレーターを利用中に、バランスを崩して後ろ向きに尻もちをつくように転倒。その後、転倒の弾みで体が前後反転した状態で、エスカレーターを6段程転落し受傷。 (70歳代、17時台、中等症、道路・交通施設)
		デパートの上りエスカレーターに荷物を持ちながら乗っていたところ、バランスを崩して5段程後方に転倒し、頭部を受傷。 (70歳代、16時台、軽症、店舗・遊技施設等)
	酔酔者	飲酒後、駅の下りエスカレーターでバランスを崩して5~6段を転落し、顔面を受傷。 (60歳代、22時台、中等症、道路・交通施設)
		駅の上りエスカレーターに乗り込んだ際に、バランスを崩して後ろ向きに転倒し、後頭部を打ちつけた。 (60歳代、14時台、中等症、道路・交通施設)
	65歳未満 (104件)	駅の上りエスカレーター上でバランスを崩して後方へ転倒。数段を転落し、臀部から腰背部、後頭部を受傷。 (50歳代、23時台、軽症、道路・交通施設)
		酔酔者
		昨夜遅くから朝方にかけて飲酒。明け方、駅構内の下りエスカレーターに乗っていたところ、バランスを崩して10段程転落し、前額部を受傷。 (60歳代、5時台、中等症、道路・交通施設)
つまずく (219件)	65歳以上 (143件)	飲酒後、駅のエスカレーターを下っている途中でふらつき転倒。エスカレーターの中程から最下段まで転落し、頭部と顔面を受傷。 (50歳代、22時台、軽症、道路・交通施設)
		駅構内の下りエスカレーターで、目的階に到着し降りようとしたところ、段差でつまずき転倒。 (80歳代、13時台、軽症、道路・交通施設)
		ファッショナブルの上りエスカレーターに乗ろうとした際、段差につまずき転倒。右大腿部を受傷し、自力歩行困難となった。 (80歳代、12時台、軽症、店舗・遊技施設等)
	65歳未満 (76件)	ショッピングセンターの下りエスカレーターを降りた際、つまずいて転倒。左大腿部の痛みがあり動けなくなった。 (70歳代、10時台、中等症、店舗・遊技施設等)
		駅の上りエスカレーターでつまずき、後ろ向きに転倒し、約3~4段転落した。 (50歳代、17時台、中等症、道路・交通施設)
	酔酔者	飲酒後、駅の下りエスカレーターと地上部分の境目のところでつまずき転倒し、顔面部を受傷。 (50歳代、21時台、軽症、道路・交通施設)

受傷原因		事例
意識消失 めまい 立ちくらみ (141件)	65歳以上 (88件)	店内のエスカレーターを上りきったところで、一過性の意識消失を発症。意識消失して倒れた際に、左臀部を受傷し、痛みで歩行困難となった。 (80歳代、12時台、中等症、店舗・遊技施設等)
	65歳未満 (53件)	駅構内の上りエスカレーターの真ん中あたりで意識消失し倒れ、頭部から出血。 (70歳代、15時台、中等症、道路・交通施設)
引っかかる 巻き込まれる 挟まる (113件)	靴の紐 (21件)	店舗の上りエスカレーターを登りきった際に意識消失し、後方へ転倒。 (50歳代、18時台、中等症、店舗・遊技施設等)
		飲酒後、駅の下りエスカレーターに乗っていた際、意識を失い、約10段転落。 (20歳代、24時台、軽症、道路・交通施設)
引っかかる 巻き込まれる 挟まる (113件)	シルバーカー 手押し車 歩行器 (20件)	デパートの上りエスカレーターから降りようとした際に、靴紐が引っかかってしまい前方に転倒し受傷。 (70歳代、12時台、軽症、店舗・遊技施設等)
		駅構内の上りエスカレーターに乗車。エスカレーターが平坦になった降り際、靴の紐がエスカレーターに巻き込まれたようで、そのまま転倒。左肩を受傷し動けなくなった。 (50歳代、8時台、軽症、道路・交通施設)
買い物カート (13件)	スーパーの上りエスカレーター乗車中に、シルバーカーが引っかかり転倒。 (80歳代、13時台、軽症、店舗・遊技施設等)	
		スーパーで買い物中、手押し車を持ち、下りエスカレーターに乗っていた。降りる際に手押し車が引っかかり、前のめりに転倒し、頭頂部及び左耳介部を受傷。 (70歳代、12時台、中等症、店舗・遊技施設等)
買い物カート (13件)	スーパーの上りエスカレーターの乗り際で、カートが引っかかり前のめりに転倒。その際、右膝を打ち、痛みのため動けなくなった。 (80歳代、15時台、軽症、店舗・遊技施設等)	
		キャリーバック スーツケース (9件)
杖 (9件)	スーパーの上りエスカレーターに乗った際に、持っていたキャリーバックが引っかかり転倒し、頭部を受傷。 (70歳代、18時台、軽症、店舗・遊技施設等)	
		杖 (9件)
その他(不明を含む) (41件)	杖 (9件)	スーパーのエスカレーターで某階に上がるこうとしたところ、2段程の高さで杖が引っかかり、前方に転倒し受傷。 (70歳代、10時台、中等症、店舗・遊技施設等)
		駅のエスカレーターを降りる際に、ズボンの裾が引っ掛けかかり、エスカレーターを転がるようにして地上まで転落し、背部を受傷。 (60歳代、11時台、中等症、道路・交通施設)
踏み外す (100件)	65歳以上 (58件)	ショッピングモールの上りエスカレーターに乘ろうとしたところ、足を踏み外して後方に転倒。 (80歳代、10時台、軽症、店舗・遊技施設等)
	65歳未満 (42件)	駅の上りエスカレーターに乘ろうとした際に踏み外して転倒し、頭部等を受傷。 (70歳代、13時台、軽症、道路・交通施設)
踏み外す (100件)	65歳未満 (42件)	駅の下りエスカレーターの残り3~4段辺りで踏み外して後方に転倒し、後頭部を受傷。 (50歳代、17時台、中等症、道路・交通施設)
		飲酒後の帰宅途中、下りのエスカレーター中腹辺りで足を踏み外して転落し、後頭部を受傷。 (50歳代、23時台、軽症、道路・交通施設)

受傷原因	事例	
滑る (93件)	足を滑らす (89件)	駅の上りエスカレーターに乗っていた。途中で手摺りを握っていたが滑つてしまい3~4段転落し受傷。 (80歳代、13時台、軽症、道路・交通施設)
		駅のエスカレーターを下り終わった際に足を滑らせ後方に転倒し、後頭部及び右膝を受傷。 (50歳代、23時台、中等症、道路・交通施設)
		駅構内の上りエスカレーターに乗ろうとしたところ、ステップで滑って転倒し、左膝を受傷。 (40歳代、7時台、軽症、道路・交通施設)
	足以外(杖等)を滑らす (4件)	スーパーのエスカレーターに乗り際、杖が滑り転倒。 (80歳代、11時台、軽症、店舗・遊技施設等)
姿勢変更 (65件)	落とした物を拾う、覗く等 (27件)	スーパーの下りエスカレーター乗車中、落とした財布を拾おうとした際に、バランスを崩して転落し、頭頂部を受傷。 (80歳代、16時台、軽症、店舗・遊技施設等)
		駅の下りエスカレーターに乗っている途中、ポケットから落ちた小銭を拾おうとした際に、3~4段の高さから転落し、前額部を受傷。 (70歳代、10時台、軽症、道路・交通施設)
	後ろを振り向く (15件)	スーパーのエスカレーターで某階に上がっていた時、後方から知人に話しかけられて振り返ったところ、エスカレーターから転落。 (80歳代、15時台、軽症、店舗・遊技施設等)
		店内の上りエスカレーターに乗っている際に、後ろを振り向いたところバランスを崩して約20段を転落し、背部及び右下腿を受傷。 (80歳代、16時台、中等症、店舗・遊技施設等)
	その他(不明を含む) (23件)	スーパーの下りエスカレーターに乗り、買い物カゴを足元に置こうとした際に、バランスを崩して転落。 (80歳代、15時台、軽症、店舗・遊技施設等)
		駅構内のエスカレーターに乗車し、荷物を置こうとした際に、バランスを崩して転倒し、前額部及び両膝を受傷。 (40歳代、9時台、軽症、道路・交通施設)
足がもつれる 足をとられる (40件)	65歳以上 (30件)	スーパーの上りエスカレーターの降り口で、足がもつれ転倒。 (90歳以上、16時台、中等症、店舗・遊技施設等)
		上りエスカレーターに乗ろうとしたところ、足がとられ後ろ向きに転倒し、尻もちをつき受傷。 (80歳代、17時台、軽症、店舗・遊技施設等)
	酔酔者	飲食店で飲酒後、駅のエスカレーターで足をもつらせ後方に転倒し、頭部を受傷。 (70歳代、19時台、軽症、道路・交通施設)
	65歳未満 (10件)	駅の下りエスカレーターの最下段ステップで、足がもつれ転倒し受傷。 (60歳代、15時台、軽症、道路・交通施設)
逆向、逆走 (33件)	65歳以上 (15件)	スーパーで地下某階に降りようとした際に、誤って上りエスカレーターに乗つてしまいバランスを崩して約5段転落。 (80歳代、13時台、軽症、店舗・遊技施設等)
	65歳未満 (18件)	上りエスカレーターに乘ろうとした際に、誤って下りエスカレーターに乗つてしまつたため、戻ろうとした際に2段目くらいから転倒し、頭部を受傷。 (60歳代、22時台、軽症、道路・交通施設)
	酔酔者	飲酒後、駅の上りエスカレーターを誤って降りようとして転倒し、右半身を受傷。 (50歳代、24時台、軽症、道路・交通施設)

受傷原因	事例	
上手く乗降できず (28件)	乗り口 (22件)	スーパーの上りエスカレーターに乗ろうとした際、上手く乗れず後方に転倒し、後頭部を受傷。 (80歳代、13時台、軽症、店舗・遊技施設等)
		上りエスカレーターに乗ろうとした際に乗り切れず、後ろ向きに転倒し、右足を受傷。疼痛のため体動困難となった。 (80歳代、9時台、中等症、道路・交通施設)
	降り口 (6件)	下りエスカレーターを止まって下っていた際、最後の2段くらいのところで足が上手く出せず転倒し、頭部から出血。 (90歳以上、12時台、軽症、店舗・遊技施設等)
手すりの掴み損ね (19件)		駅構内の上りエスカレーターの手すりを掴もうとした際に、バランスを崩して転倒し、左膝と頭部を受傷。 (80歳代、13時台、中等症、道路・交通施設)
		スーパーのエスカレーターで某階へ降りている際に、手すりを掴み損ねて、約5段転落。 (70歳代、13時台、中等症、店舗・遊技施設等)
脱力 (7件)	商業施設内エスカレーターにて、両下肢脱力により2段程転落。その後自力での歩行が困難となった。 (80歳代、11時台、軽症、店舗・遊技施設等)	
具合が悪い(吐き気がある等) (4件)	駅のホームからコンコースへ上がるエスカレーターに乗っていた時に、具合が悪くなり転倒。 (70歳代、7時台、軽症、道路・交通施設)	
機外へのはみ出し (2件)	下りエスカレーターで手摺りの外に左腕を出していて、柱の繋ぎ目に左前腕を挟まれ受傷。 (10歳未満、17時台、軽症、店舗・遊技施設等)	

2 外的要因

受傷原因	事例
転倒者・転落者の巻き添え (189件)	65歳以上 (123件) ショッピングセンターの上りエスカレーターに乗っている際、前方に乗っていた友人が後方に倒れ込んできた。友人とともに後方5段程下方に転落。 (80歳代、16時台、軽症、店舗・遊技施設等)
	駅の上りエスカレーターに乗っていたところ、前方に乗っていた家族がバランスを崩して後方に転倒し接触。後方に3段ほど転落し、後頭部から出血。 (80歳代、12時台、中等症、道路・交通施設)
	駅のエスカレーターを下降中、後方から足を踏み外し倒れてきた人に巻き込まれ転倒。2~3段程の高さを転倒し、右手関節部を痛めた。 (70歳代、10時台、軽症、道路・交通施設)
	65歳未満 (66件) 商業施設内の上りエスカレーターで移動中、前に乗っていた友人がバランスを崩して転倒。転倒した友人とともにエスカレーターから数段転落し受傷。 (50歳代、15時台、中等症、店舗・遊技施設等)
	駅の下りエスカレーター乗車中、後方(上方)で第三者が転倒してぶつかり、7~8段程転落し受傷。 (30歳代、7時台、軽症、道路・交通施設)
	落下物の巻き添え (62件)
キャリーバック スーツケース (55件)	駅構内の下りエスカレーターで降下中、後方(エスカレーターのほぼ最上段)から滑り落ちてきたスーツケースが左足に接触して転倒し、両下肢を受傷。 (70歳代、11時台、中等症、道路・交通施設)
	駅構内の上りのエスカレーターに乗車中、エスカレーターの上方から他利用客のスーツケースが落下してきた。そのスーツケースが顔面と右膝にぶつかり受傷。 (50歳代、16時台、軽症、道路・交通施設)
	空港内の下りエスカレーターで、他利用客のキャリーバッグが落下して転倒し、頭部を受傷。 (40歳代、14時台、軽症、道路・交通施設)
その他(不明を含む) (7件)	駅のエスカレーターで、上から転がり落ちてきた水筒が右頸部に当たり受傷。 (40歳代、8時台、軽症、道路・交通施設)
	歩行者との接触、衝突等 (10件)
	駅でエスカレーターに乗っていた際に、後方から歩いて来た人と接触して前のめりに転倒し、左膝を受傷。 (70歳代、21時台、軽症、道路・交通施設)
人(転倒者・転落者以外)との接触、衝突等 (39件)	その他(不明を含む) (29件)
	駅前広場の上りエスカレーターを登り切ったところで、家族とぶつかり転倒し、左側頭部を受傷。 (80歳代、18時台、中等症、道路・交通施設)
	スーパーのエスカレーターで、前に乗っていた利用客がしゃがんだ際に接触して後方に転倒。 (50歳代、17時台、軽症、店舗・遊技施設等)
非常停止・自動停止 (12件)	デパートの上りエスカレーターを利用中、エスカレーターが緊急停止したため衝撃で後方へ転倒。 (90歳代、14時台、軽症、店舗・遊技施設等)
	エスカレーター乗車中にエスカレーターが緊急停止したため、前方に転倒し腰部を受傷。 (70歳代、11時台、中等症、道路・交通施設)
物(落下物以外)との接触、衝突等 (2件)	駅のエスカレーターを下る際に、誤って家族が持っていたスーツケースに当たり転落。 (10歳未満、20時台、軽症、道路・交通施設)
機器故障 (1件)	上りエスカレーターに乗っていた際に、左手でつかんでいた手すりが止まつたため、バランスを崩し1段程転落し、右側頭部を受傷。 (80歳代、12時台、軽症、店舗・遊技施設等)